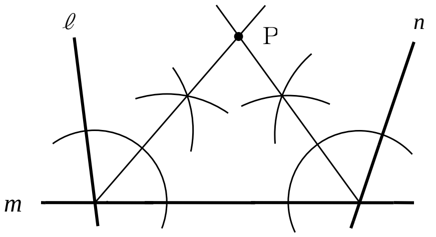
数学　採点のポイント

（3　一次・分割前期）

問題番号 配点	正　　答　　例	採点のポイント
1 〔問９〕 配点 ６点		○直線ℓと直線m，直線mと直線nが交わってできる角の二等分線をそれぞれ引き，その交点となる点Ｐが正確に示されている。
2 〔問２〕 配点 ７点	１辺の長さが$2a$ cmの正方形の面積は$(2a)^2$ cm^2，この正方形の各辺に接する円の面積はπa^2 cm^2で，タイルがn^2枚あるから， $\mathrm{X}=\{(2a)^2-\pi a^2\}\times n^2$ $=(4a^2-\pi a^2)\times n^2$ $=(4-\pi)a^2n^2$　…………(1) タイルを縦と横にn枚ずつ並べてできる正方形と同じ大きさの正方形の１辺の長さは$2an$ cm，この正方形の各辺に接する円の半径はan cmであるから， $\mathrm{Y}=(2an)^2-\pi\times(an)^2$ $=4a^2n^2-\pi a^2n^2$ $=(4-\pi)a^2n^2$　…………(2) (1)，(2)より， Ｘ＝Ｙ	○Ｘで表される面積を，aを用いた式で表し，適切に処理して示されている。 ○Ｙで表される面積を，aを用いた式で表し，適切に処理して示されている。 ○Ｘ＝Ｙが成り立つことが的確に示されている。
4 〔問２〕 ① 配点 ７点	仮定から，ＡＢ＝ＡＰだから， △ＡＢＰは二等辺三角形である。 二等辺三角形の底角は等しいから， ∠ＡＢＰ＝∠ＡＰＢ よって， ∠ＡＢＰ＝∠ＱＰＲ　…………　(1) 四角形ＡＢＣＤは長方形だから， ＡＢ//ＤＣ 平行線の同位角は等しいから， ∠ＡＢＰ＝∠ＱＲＰ　…………　(2) (1)，(2)より ∠ＱＰＲ＝∠ＱＲＰ よって，△ＱＲＰにおいて， ２つの角が等しいから， △ＱＲＰは二等辺三角形である。	○正しいと認められる事柄について，根拠を明確に記述し，仮定から結論を導く推論の過程が的確に示されている。

各学校において，採点のポイントを踏まえて『部分点の基準』を作成し，『部分点の基準ごとの点数』を定めること。
なお，受検者の実態等に応じて，次の例のように詳細な基準を定めることができる。

- 「○○について××が書かれている。」のように，具体的な内容を加えること。
- 「○○と△△が書かれている。（３点）」「○○が書かれている。（２点）」「△△が書かれている。（１点）」のように，段階を設け，段階ごとの点数を設定すること。
- 「誤字が一つ以上ある。（１点減点）」のように，部分点の基準を加えること。